

BY·FAR Z - K資料

Kの水質的特長

Kの分析値（3倍希釈）

- ・ BOD（生物化学的酸素消費（要求）量） 9800mg/L
水中の有機物による汚濁の状態を表す指標の数値のひとつ。水中の有機性汚濁物質が生物化学的に、20、5日間で酸化分解するのに消費される酸素量で表されます。
- ・ COD（科学的酸素消費（要求）量） 21000mg/L
水中の有機物による汚濁の状態を表す指標の数値。水中の有機性汚濁物質を、酸化剤（過マンガン酸カリウム）を用いて、科学的に酸化をするときに消費される酸素量で表されます。BOD値とは必ずしも一致しません。CODMnと表示されることもあります。
- ・ n - Hex 値（ノルマルヘキサン値） 26000mg/L
ノルマルヘキサン値とは水中に含まれる揮発しにくい、炭化水素、グリース、油状物質で、ノルマルヘキサンに溶解し抽出される物質の量。油分のない洗剤に、ノルマルヘキサン値が高濃度で溶け込んでいますが、これは界面活性剤成分はすべて、油と同じくノルマルヘキサンに溶解します。それによってこのような高い値が出るようになります。
ですから、油を流さなくても、手を洗っただけで n - Hex 値が検出されます。

濃度計量証明書

平成19年9月6日

グローブ イーピー株式会社 殿

日本電工株式会社郡山環境計量所
 福島県郡山市日和田町字小堰26
 〒963-0534 Tel (024) 958-2381
 福島県計量証明事業登録環第10号
 環境計量士(濃度関係) 既 達夫
 登録番号 第1141号



平成19年8月31日付け依頼の試料について計量した結果を下記のとおり証明いたします。

試料名：BY・FAR Z-K 3倍希釈

計量の対象	計量の結果	計量方法
生物学的酸素消費量 [BOD] (mg/L)	9800	JIS K 0102-21 及び 32.1 ウインクラーアジ化ナトリウム変法
化学的酸素消費量 [COD _{Mn}] (mg/L)	21000	JIS K 0102-17 滴定法

受付方法 : 持ち込み
 採取者 : 貴方 (鈴木)
 試料採取日 : 2007年8月31日

No. K-265

濃度計量証明書

平成19年10月18日

グローブイーピー株式会社 殿

日本電工株式会社郡山環境計量所
福島県郡山市日和田町字小堰26
〒963-0534 Tel. (024) 958-2381
福島県計量証明事業登録環第10号
環境計量士(濃度関係) 坂 達夫
登録番号 第1141号

平成19年10月9日付け依頼の試料について計量した結果を下記のとおり証明いたします。

試料名：BY・FAR Z-K 3倍希釈

計量の対象	計量の結果	計量方法
ヘキソ抽出物質 (mg/L)	26000	JIS K 0102-24 ヘキソ抽出重量法
受付方法 : 持ち込み 採取者 : 貴方 試料採取日 : 2007年10月9日		



Japan
Food
Research
Laboratories

試験報告書

第 507080790-004号

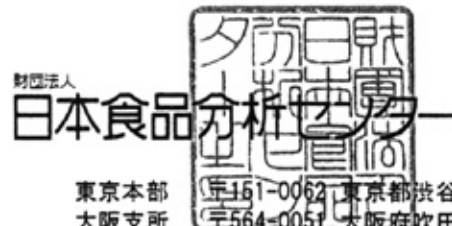
2007年(平成19年)10月19日

依頼者 グローブ イーピー株式会社

検 体 BY・FAR Z-K(3倍希釈液)

表 題 DOC法による生分解度試験

2007年(平成19年)09月03日当センターに提出された
上記検体について試験した結果は次のとおりです。



東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番
彩都研究所 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4番41号

7) 測定機器

TOC計：TOC-V [株式会社 島津製作所]

4 試験結果

1) DOCによる生分解度

検体及び基準物質の生分解度を表-1に示した。

検体の28日後の生分解度は83 %であった。また、基準物質の14日後の生分解度は95 %以上であった。

表-1 検体及び基準物質の生分解度(単位：%)

試験区分	7日後	14日後	21日後	28日後	平均値
検 体					
培養試験区1	68	74	78	81	83*
培養試験区2	72	76	83	84	
培養試験区3	72	78	80	83	
非培養試験区	<5	<5	<5	<5	-
吸着試験区	<5	<5	<5	<5	-
アニリン					
基準試験区	90	>95	-	-	-

* 培養試験区1~3の28日後の平均値を示した。

2) DOC値

検体及び基準物質のDOC値を表-2に示した。

なお、非培養試験区以外の結果は植種ブランクを差し引いた値を示した。

表-2 検体及び基準物質のDOC値(単位：mgC/l)

試験区分	開始時		7日後	14日後	21日後	28日後
	直後	2時間後				
検 体						
培養試験区1	41.6	40.5	13.5	10.8	9.0	7.9
培養試験区2	41.6	40.5	11.5	10.0	7.2	6.8
培養試験区3	41.2	40.3	11.4	9.0	8.2	6.8
非培養試験区	40.1	40.4	41.1	39.7	40.5	41.5
吸着試験区	41.0	41.1	39.0	40.1	40.5	41.3
アニリン						
基準試験区	38.3	38.0	3.8	1.7	-	-

以 上

ダクトフィン洗浄



施工前



KA(5倍希釈) 洗浄中



K(5倍)希釈 洗浄中



施工完了

ドレンパン洗浄



施工前



施工後

フィン洗浄



施工前



施工後

おでん釜洗浄



洗浄前



洗浄中



洗浄後

製品安全データシート

作成 2007/08/27

製品名 : BY・FAR Z-K

1. 製品及び会社情報

製品名 : BY・FAR Z-K
会社名 : グローブイーピー株式会社
住所 : 〒963-0201 福島県郡山市大槻町谷地52番地
TEL 024-951-3733 FAX 024-952-6200
担当者 : 鈴木 浩市
緊急連絡電話番号 : 同上

2. 組織、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
化学名又は一般名 : ポリオキシアルキレンラウリルエーテル
ヤシ油脂肪酸アミドプロピルジメチルアミンサンベタイン
成分及び含有量 : 4.9%
CAS No : 該当なし
P R T R 法 : 該当物質なし
化審法 : 該当物質なし
安衛法 : 該当物質なし
消防法 : 該当物質なし
土壌汚染対策法 : 該当物質なし

3. 危険有害性の要約

【最重要危険有害性】
人体に対する有害な影響 : 目に入ると低刺激
環境影響 : 生分解性良好
物理的及び化学的危険性 : 特になし
化学物質等の分類 : 分類の基準に該当しない

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 水又は温水で洗い落とす。皮膚に異常が出た場合は、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水を多量に飲ませ、吐かせてから医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 指示はない。
消火方法 : 本剤の引火は認められないので、消火方法の指示はない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出時の処理を行う際には、必ず簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等を着用すること。
環境に対する注意事項 : 多量の場合は、土砂などで河川等への流出を防止し、出来る限り空容器に回収する。
除去方法 : 少量の場合は、水で洗い流す。多量の場合は、空容器に出来るだけ回収し、ウエス等で拭き取った後、多量の水で洗い流す。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱 : 簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等の保護具を着用する。
保管 : 直射日光を避け密栓し、屋内に保管する。氷点下で凍結するので、冬期は凍結しない場所に保管する。
保管量 : 備蓄量の制限はない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 特に設定なし
管理濃度 : 設定なし
許容濃度 : 設定なし
保護具 : 簡易マスク、ゴム手袋、長靴、防護メガネ

9. 物理的及び化学的性質

【外観】

物理的状態 : 液体 (常温)
色 : 無色透明
臭い : 微かな薬品臭
pH : 7.0~7.3 (15°C)

【物理的状態が変化する温度】

沸点 : 100°C

引火点 : 引火せず
発火点 : 発火せず
爆発限界 : 下限、上限とも設定なし
比重 : 1.02 (25°C)
粘度 : 27.4Pa・s (15°C)

【溶解性】

水 : 水溶性、軟水、硬水で性能不変
その他の溶媒 : 設定なし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 酸・アルカリに安定。他の洗剤、溶剤に可溶安定。
反応性 : 特になし
避けるべき条件 : 40°C以上の高熱
避けるべき物質 : 特になし
危険有害分解生成物 : 特になし

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし
局所(皮膚、眼等)影響 : 特になし

12. 環境影響情報

移動性 : 物理化学的性質からみて、水域・土壌環境に移動しうる。
残留性 / 分解性 : 生分解度83%以上(OECD化学物質テストガイドラインによるDOC法)
魚毒性 : LC₅₀ 240mg/L ((財)日本食品分析センター Binominal法 サンプル魚ヒメダカ)

13. 廃棄上の注意

: 100倍以上の希釈処理の上廃棄。あるいは、産業廃棄物処理業者に委託。
空容器を廃棄する場合は、内容物を処理した後処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制 : 該当なし
国連分類 : 該当なし
国連番号 : 該当なし
輸送の特定の安全対策 : 「7. 取扱及び保管上の注意」の項の記載に従うこと。
及び条件 : 運搬に際しては、容器から漏れがない事を確かめ、転倒・落下・損傷などに注意して積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
海上輸送及び航空輸送 : 非危険物につき混載可。

15. 適用法令

: 食品衛生法 (法令1 洗浄剤の規格基準の項)

16. その他の情報

: 本製品安全データシート(MSDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途・使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、MSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

油分散洗淨剤 BY・FAR Z-K

取扱説明書

グローブ イーピー株式会社

福島県郡山市大槻町谷地52番地

TEL:024-951-3733 FAX:024-952-6200

【主な用途】

厨房・食肉加工・水産加工場の洗浄、床洗浄、衣類等繊維類の洗浄、事務機器・機械・計器等手指垢の洗浄、野菜・果物類の洗浄。

【安全に関するご注意】

- ◆ 乳幼児の手の届く所には置かないで下さい。
- ◆ 用途以外には使用しないで下さい。
- ◆ 長時間使用する時、または、荒れ性の方や敏感症の方が使用する場合は、炊事用手袋を着用して下さい。同じ条件下において、素手で使用した場合は、使用后流水で水洗いの上ハンドクリーム等でのお手入れをお勧めします。
- ◆ 流水の場合は5秒以上、溜め水の場合は2回以上すすいで下さい。
- ◆ 野菜・果物類は5分以上浸けないで下さい。
- ◆ 希釈した液を長時間置きますと、変質する恐れがありますので、必要量の希釈液を作ってご使用下さい。

【応急処置】

- ◆ 目に入った場合は、清浄な流水で5分以上洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ◆ 皮膚に付着した場合は、水または温水で洗い流して下さい。また、皮膚に異常が出た場合は、医師の診察を受けて下さい。
- ◆ 誤って飲み込んだ場合は、水を多量に飲ませ、吐かせてから医師の診察を受けて下さい。

【保存期間】

- ◆ 一斗缶の場合、本剤が水系洗剤のため、長期間放置しますと、缶内部が腐食する事があります。これにより、穴が開く、または錆による着色等がありますので、製造日より1年以内に使い切して下さい。(洗浄力が低下する事はありません)
- ◆ ポリ缶・ロンテナーの場合、腐食はありませんが、本剤は自然での生分解がし易い素材を使用しておりますので、保存場所の環境によっては、洗剤中の水そのものが腐敗したり、藻類が発生することがあります。冷暗所であれば2年程度の保存は可能ですが、保管場所に注意し、1年以内に使い切して下さい。洗剤容器(一斗缶・段ボール等)には、製造年月日が記してあります。

【保管上の注意】

- ◆ 直射日光を避け、密栓し冷暗所に保管して下さい。
- ◆ 氷点下で凍結しますので、冬は凍結しない場所に保管して下さい。凍結した場合は、解凍すれば再度使用できます。

【洗浄に注意する材質】

- ◆ アルミニウム Z-1Kに長時間浸け置きますと、若干の重量変化が生じますので、速やかに水洗いして下さい。10～15倍希釈で使用し、洗浄後十分にすすぎをすれば問題ありません。
- ◆ 真鍮 10時間以上浸け置くと表面を変化させますので、短時間で洗浄し、速やかにすすぎを行い、十分に乾燥させて下さい。10～15倍希釈で使用して下さい。
- ◆ 鉄 本剤は脱脂効果が高いので、洗浄後の乾燥及び防錆処理を迅速に行ってください。
- ◆ 塗装面 水系塗装には使用しないで下さい。

●ご使用の前に●

本剤は、希釈タイプの中性洗剤です。原液で使用しますと、本剤の特性が生かされませんので、使用場所に合わせて必ず3～100倍に希釈してお使い下さい。
また、汚れには多種多様なものがありますので、希釈倍率・洗浄方法等、お試しの
上ご使用下さい。

【一般的な使用方法】

※軽度の汚れにご使用下さい。

用途	希釈倍率	洗浄方法	注意事項
(軽度の汚れ) まな板・包丁等の 調理器具・食器	10～30倍	・希釈したZ-Kを別容器に入れ、通常の台所用洗剤と同様に使用する。 ・十分にすすぎを行う。	
(軽度の汚れ) 厨房等のコンクリート 床洗浄	3～7倍	・Z-Kの希釈液を散布し、デッキブラシで擦り洗う。 ・水勾配上部より流水ですすぐ。 ・スクレーパーで水分を排水溝に流し込んで仕上げる。	
(軽度の汚れ) ガス台周り	3～10倍	・五徳をはずして、希釈液に30分程度浸け置く。 ・ガス台全体にZ-Kの希釈液をスプレーする。 ・油分の積層している部分は、スクレーパーで削り取り、ブラシかスチールウールたわしで擦り洗う。 ・浸け置いた五徳は、スクレーパー及びフライヤーたわしで擦り洗う。 ・十分にすすぎを行い完了。	
(軽度の汚れ) 換気扇周り及び ダクト	3～10倍	・清掃前に電気系統に水がかからない様に絶縁する。 ・ファン及びダクト部分にZ-Kの希釈液をスプレーする。この時、油分の積層が厚い部分は、スクレーパーで削り落とす。 ・5～10分経過後、水で絞った雑巾で拭き上げる。	
野菜・果物等の 洗浄	1Lに対し て0.75cc	・水を張ったシンクにZ-Kを入れ、シンクの中で希釈液を作る。 ・野菜や果物を洗浄する。 ・30秒以上、流水ですすぎ洗う。	5分以上浸けない。
手垢落とし・テーブル 清掃	20～50倍	・Z-Kの希釈水で雑巾を絞る。 ・清掃箇所を拭き取る。	
シンクでの 浸け置き洗い	4000倍	・200Lの水に対し50ccのZ-Kを入れ、食器を漬け置く。 ・スポンジやタワシで軽く擦り洗う。 ・十分にすすぐ。	

【その他】

動植物油脂の油流出事故の際、手洗い・ブラッシングの場合は、漏油量1に対して原液1を目安に希釈してご使用下さい。

高圧洗浄の場合は、漏油量1に対して原液0.5を目安に希釈してご使用下さい。

※これは、あくまで目安ですので、ご使用時は汚れの度合いに応じて、調節して下さい。